

豪雨と猛暑のニュースに驚かされています。時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、**第35回生殖・発生毒性学東京セミナー**を下記の概要で開催する運びとなりました。今回は、化審法改正についての情報提供に加えて環境化学物質曝露による生殖・発生毒性、エピジェネティック毒性、行動毒性といった研究成果をご発表していただきます。ご参加をお願い申し上げます。

【演題】

1. 化審法と生殖発生毒性試験ガイドライン

山本 雅也 先生 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部

「化学物質が通常の使用・消費・廃棄により環境に放出された際の人健康・生態への被害を防止するための化学物質管理を目的する化審法とそのスクリーニング評価のための生殖発生毒性試験ガイドラインについて概説する。」

2. 生殖・発生毒性とエピジェネティック制御

曽根 秀子 先生 横浜薬科大学 分子毒性学分野

「生殖・発生や発がんなどの過程にエピジェネティック制御が深く関与していることが、明らかになってきて、化学物質曝露によるエピジェネティック毒性の検出に関心が高まっている。本講演では、多能性幹細胞とその分化細胞を主な研究材料に、エピジェネティックな変動を引き起こす物質の迅速検出試験法を開発の現状を報告する。」

3. 発達期の環境化学物質曝露と行動の発達

前川 文彦 先生 国立研究開発法人国立環境研究所

環境リスク・健康研究センター 生体影響評価研究室

「発達障害発症率増加の原因として有害化学物質曝露の影響が懸念されている。本講演では幼若期の動物モデルを用いた化学物質曝露による行動異常を検出することで行動発達を阻害する因子を見出す研究の一端を紹介する。」

生殖・発生毒性学東京セミナーは、9名の実行委員が世話人として持ち回りで開催しています。

＜セミナー実行委員＞ ○：第35回担当委員

○名波 加奈	(株)安評センター
○小林 健一	(独)労働安全衛生総合研究所
宇部 雅進	田辺三菱製薬(株) 安全性研究所
片桐 龍一	中外製薬(株) 安全性研究部
鷹野 正生	(株)ボゾリサーチセンター
中島 幹夫	旭化成ファーマ(株) 安全性・動態研究部
山本 大	(株)LSIメディエンス
宇佐見 誠	国立医薬品食品衛生研究所
則武 健一	(株)サンプルネット

ご質問、ご意見、ご要望は事務局にお寄せください。

生殖・発生毒性学東京セミナー <http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>

＜事務局＞ 日本バイオアッセイ研究センター

奥田 裕計 神奈川県秦野市平沢 2445 TEL:0463-82-3911

e-mail : hirokazu-okuda@jbrc. johas. go. jp

日時： 2018年9月28日（金） 13:25～17:00
 会場： 「独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター」
 センター棟4階、401室 （別添地図参照）
 懇親会： カルチャー棟2階「レストラン とき」
 会費(当日)： セミナー：1,500円（学生・大学院生 JTS 名誉・功労会員無料）
 懇親会：一般3,500円、学生・大学院生1,000円

プログラム

- 13:10～13:25 受け付け
 13:25～13:30 開会のことば
 進行 名波 加奈 委員 (株)安評センター
 小林 健一 委員 (独)労働安全衛生総合研究所
1. 13:30～14:30 「化審法と生殖発生毒性試験ガイドライン」
 山本 雅也 先生 国立医薬品食品衛生研究所
 安全性生物試験研究センター 毒性部
 (休憩)
2. 14:45～15:45 「生殖・発生毒性とエピジェネティック制御」
 曾根 秀子 先生 横浜薬科大学 分子毒性学分野
3. 15:50～16:50 「発達期の環境化学物質曝露と行動の発達」
 前川 文彦 先生 国立研究開発法人国立環境研究所
 環境リスク・健康研究センター 生体影響評価研究室
- ～16:55 閉会のことば
 17:10～18:40 懇親会

※セミナー・懇親会ともに、ノーネクタイのカジュアルな服装でご参加ください。

※セミナー終了後に懇親会を企画しています。会員相互の親睦を深めると共に情報交換の場としてご活用ください。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

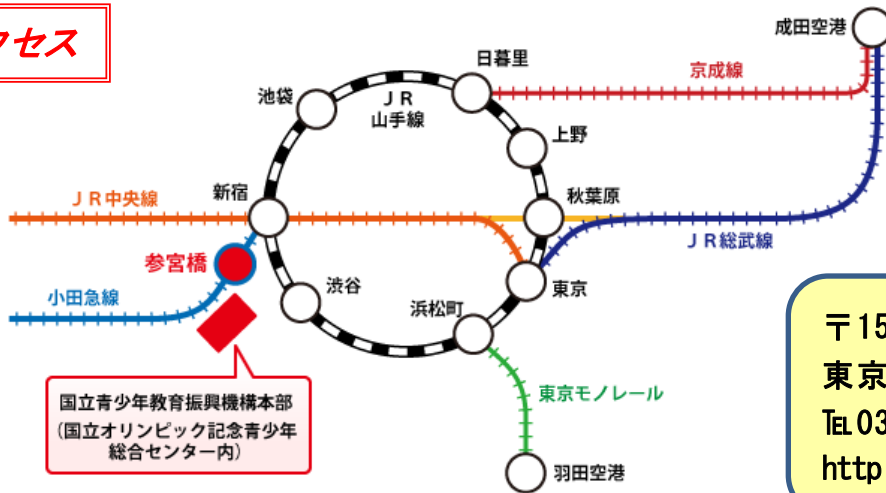
※企業や団体の参加者で、リーフレットの配布、資料等の展示がございましたらお申し出ください。半机分のスペースを準備いたします（無料）。

(事務局から) 懇親会参加希望者は9月20日(木)、セミナー参加希望者は9月25日(火)までに、氏名・所属・連絡先(住所、TEL、e-mail)をご記入の上e-mailで事務局にお申込みください。学生の方は明記してください。なお、当日受付(懇親会含む)も行いますが、ハンドアウトを配付できない場合がありますのでご了承願います。

生殖・発生毒性学東京セミナー
 <事務局>
 奥田 裕計

<http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>
 日本バイオアッセイ研究センター
 神奈川県秦野市平沢2445 TEL:0463-82-3911
 e-mail:hiroказu-okuda@jbrc.johas.go.jp

アクセス



国立青少年教育振興機構本部
(国立オリンピック記念青少年総合センター内)

〒151-0052
東京都渋谷神園町 3-1
Tel 03-3469-2525
<http://nyc.niye.go.jp>

JR 東京駅から

JR 中央線 約 14 分 新宿駅乗り換え
小田急線 各駅停車 約 3 分
参宮橋駅 下車 徒歩約 7 分

小田急線

参宮橋駅下車 徒歩約 7 分

地下鉄千代田線

代々木公園駅下車
(代々木公園方面 4 番出口) 徒歩約 10 分



国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター

参宮橋からの[歩道橋]を使った経路



参宮橋からの[横断歩道]を使った経路



懇親会：カルチャー棟 2 階「レストランとき」

セミナー会場：
センター棟 4 階、401 室



若手研究者フォーラム@第35回生殖・発生毒性学東京セミナー

募集要項

生殖・発生毒性学東京セミナーは、若手研究者に対して生殖・発生毒性学に関わる広く種々の情報を交換する場と機会が必要と考え、「若手研究者フォーラム」を開催しています。産官学の様々な立場からの意見や話題は若手研究者にとって将来の貴重な財産になると考えます。

「若手研究者フォーラム」は、研究室や教室単位のご応募を基本としますが、個人でのご応募も配慮します。質疑応答の時間を多く取りますので、考察や結論が確定していない内容でも構わないと考えています。多数のオーディエンスを前にしての口頭発表での経験や激励が今後の研究生活に活かされることを期待しています。従いまして、午後のセミナーへの参加希望者には、この若手フォーラムにもぜひご参加いただけるようお願いするとともに、多大なご声援と協力をお願いします。

日時：2018年9月28日（金）、午前9：30～11：30（予定）、会場使用8：30～12：00

会場：（独）国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階401室

会費：無料。（発表された学生・大学院生は午後のセミナー・懇親会費も無料とします。）

発表：発表7～15分+質疑応答8～10分を基本とし、1研究室2～4題（40～60分）とします。司会・進行は指導教官等が担当してください。

応募：2018年8月16日（木）～9月4日（火）。学部学生・大学院生の場合は、指導教官が一括してご応募ください。

応募方法：生殖・発生毒性学東京セミナー事務局に e-mail、または HP <http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>「会員専用」→「発表申込」からご応募ください。

ご協力のお願：受付、会場の準備にご協力ください。

注意：ご応募が少ない場合には中止にさせていただくこともあります。

発表の内容が決定し、プログラムができあがり次第、会員の皆様には案内をさせていただきます（9月中旬以降予定）。また、HPのお知らせにも掲示いたします。

生殖・発生毒性学東京セミナー 実行委員・事務局

<事務局>

日本バイオアッセイ研究センター
奥田 裕計 神奈川県秦野市平沢 2445 TEL:0463-82-3911
e-mail: hirokazu-okuda@jbrc.johas.go.jp